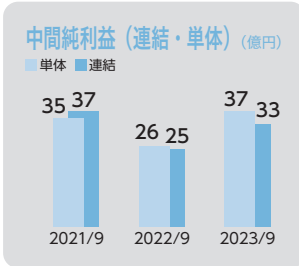
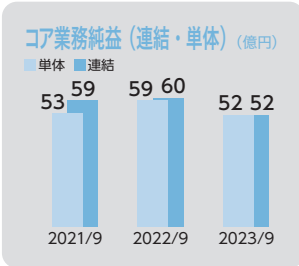


業績ハイライト (2023年9月期)

● 財務ハイライト

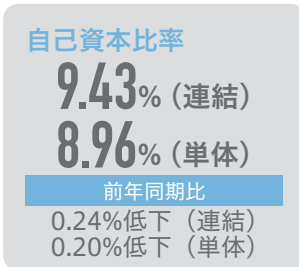


コア業務純益
業務粗利益から国債等債券関係損益を控除し、人件費や物件費などの経費を差し引いた銀行本来の業務から得られる利益

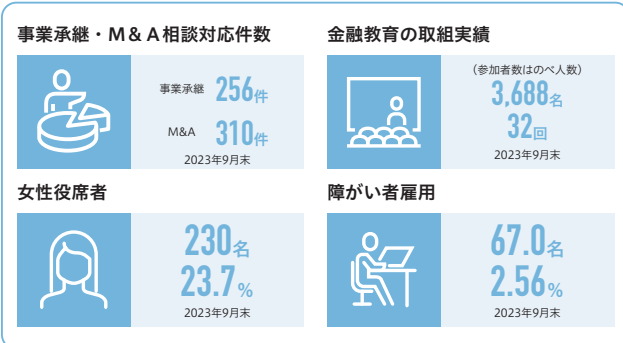


※譲渡性預金を含む

※私募債を含む



● 非財務ハイライト



株式情報 (2023年9月末)

- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(証券コード: 8346)
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内に開催
- 配当基準日 期末配当: 3月31日
中間配当: 9月30日
- 公告掲載方法 電子公告
(当行HP <https://www.tohobank.co.jp/>)
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は福島民報、福島民友、日本経済新聞に掲載します。

株主の皆さまへ (2023年9月末)

- 発行済株式総数 (普通株式) 252,500,000株
 - 株主数 20,141名
 - 株主還元方針 (2022.5~)
 - 安定配当6円を基本(年間)
 - 連結配当性向30%を目安
 - 業績の成果に応じた弾力的な利益還元
- 中間配当推移 (円)
-
- | 年度 | 中間配当 (円) |
|---------|----------|
| 2021年9月 | 3.0 |
| 2022年9月 | 3.5 |
| 2023年9月 | 3.5 |

株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在、当行株式を「1,000株以上かつ継続して1年以上」保有されている株主さまは、保有株数と保有期間に応じた該当金額相当の優待品等をカタログより、ご希望するコースを1つお選びいただけます。

保有株数	保有期間	
	継続して1年以上	継続して5年以上
10,000株以上	8,000円相当	10,000円相当
5,000株以上 10,000株未満	5,000円相当	8,000円相当
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当	5,000円相当

- 宿泊コース
福島県内約250の宿泊施設で利用できる「福島県宿泊施設ご優待券」
- 特産品コース
福島県復興支援通販サイト「うつくしま良品本舗」の中から一品贈呈
- TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース
TSUBASAアライアンスに参加する地方銀行6行(千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、群馬銀行、滋賀銀行)の地元特産品の中から一品贈呈
- 寄付コース
日本赤十字社福島県支部、福島県、ふくしま子ども食堂ネットワークに優待特典相応額を寄付(2023年9月に86名の株主さまからお預かりした813千円を寄付いたしました。)

2023年11月発行
東邦銀行 総合企画部
広報・社会貢献課
〒960-8633 福島市大町3番25号
電話 (024)523-3131



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

とうほう通信

2023年9月期

すべてを地域のために

TOHO BANK

REPORT 2023



とうほう「**輝**」プラン

- I 地域・お客さまが輝く
- II 従業員が輝く
- III 当行が輝く

2020年度(前中計実績) 2021年度実績 2022年度実績

連結コア業務純益	98億円	122億円	100億円
連結ROE	△2.4%	3.5%	2.3%
連結コアOHR	77.8%	73.1%	76.3%

〔長期ビジョン〕

地域社会に貢献する会社へ
～金融サービスの枠を超えて～



2023年度(中間) 2023年度目標(最終年度)

52億円	前年同期比 8.2億円 減	100億円以上
3.4%	前年同期比 0.8% 増	2.8%以上
75.7%	前年同期比 3.5% 増	78%以下

サステナビリティの取組み

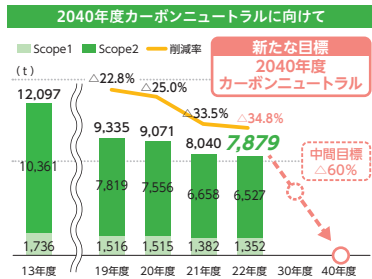
GX(グリーントランスフォーメーション)の取組み

地域の脱炭素化、“ふくしま”の持続的発展に貢献

とうほうグループの取組み

2030年度のCO2排出量削減目標を50%から60%に引き上げるとともに、2040年度のカーボンニュートラルを新たな目標として設定

- ZEB・省エネ店舗設置
- 空調設備高効率化
- 照明設備LED化
- 環境配慮車導入
- 再エネ電力利用拡大



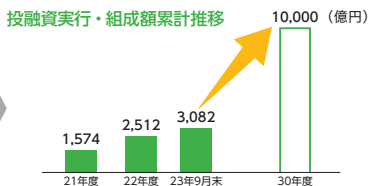
地域の脱炭素化に向けた取組みを牽引し、“ふくしま”の持続的な発展に貢献

2040年度
とうほうグループ
カーボンニュートラル

2050年度
“ふくしま”の持続的な発展
福島県全体の
カーボンニュートラル

環境分野サステナブルファイナンスの取組み強化

お客さまの脱炭素に向けた取組みを金融面から積極的にサポート



2030年度 環境分野 サステナブルファイナンス 目標 1兆円

お客さまの取組み支援

脱炭素コンサルティング

- CO2排出量算定・目標設定削減実行
- 太陽光発電設備導入
- 環境配慮型車両導入
- 勉強会開催補助金申請
- LED照明設備導入

ダイバーシティの取組み

ベテラン・シニアの活躍機会拡大

60歳以降も支店長等の役職で活躍できる環境を整備しており、シニアサポーター制度により最長70歳まで勤務可能です。

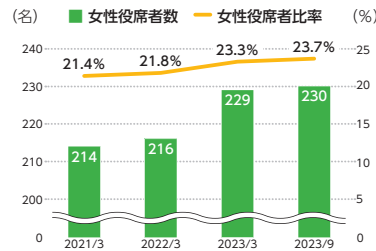
60歳以降の従業員数(2023年9月末)

行員再雇用	39名
業務主任嘱託	122名
シニアサポーター	43名

女性の活躍推進

女性従業員が安心して働き活きと働くことのできるよう仕事と家庭の両立など様々な支援を継続的に進めており、活躍する女性が増加しています。

女性役員者の増加



復職支援セミナー

復職を予定する従業員に対して、先輩従業員が仕事と家庭との両立やキャリア形成についての悩みを共有しアドバイス。

文部科学省「生涯スポーツ優良団体」受賞

地域又は職域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、スポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者・団体を文部科学大臣が表彰するもので、当行陸上競技部が長年取り組んできた、地域スポーツの普及・発展を目的とした陸上教室および陸上競技大会の開催などの功績が評価され受賞となりました。



野村證券との金融商品仲介業務における包括的業務提携に関する基本合意書締結

地域の資産所得増加や人生100年時代の充実した備えに貢献し、地域のお客さまの豊かな“未来”の創造に寄与することを目的として、2023年8月30日に金融商品仲介業務における包括的業務提携に関する基本合意書を当行、とうほう証券および野村證券の3社間で締結しました。



野村証券 杉山専務 佐藤頭取

とうほう次世代経営者倶楽部 浪江視察研修会を開催

とうほう次世代経営者倶楽部の会員および当行職員が浪江町を訪問し、新エネルギーとして世界が注目する水素の利活用、現地進出企業や福島国際研究教育機構(F-REI)との連携など、今後の事業展開、ビジネスの可能性を考える研修会を開催しました。



施設見学の様子

とうほう次世代経営者倶楽部

次世代を担う若手経営者および後継者の経営資質向上やネットワークづくりを目的として運営